

【生産性向上に資する開発プロジェクト】

プロジェクト名称	下水道処理施設の日常点検を代替するロボット点検ソリューションの開発
事業者	アジア航測株式会社
プロジェクト概要	<p>下水道処理施設を対象として、人手不足の進むインフラメンテナンスに役立つ「ロボット点検ソリューション」を開発します。</p> <p>アジア航測ではロボットを遠隔操作/自律移動させ、点検対象のデータを取得し、解析や異常判定まで自動で行うソリューションの開発を進めています。点検環境に応じて複数のロボットを用い、それらを統合管理することで施設全体の点検を自動化します。本助成事業では、ソリューション全体のうち、データ管理・自動解析システムの開発に取り組み、点検結果の集積やAI等によるセンサデータ解析によって点検効率化を実現します。</p> <p>将来的には自社開発(二次開発含む)以外のロボットも統合管理することを視野に入れつつ、国内外の下水道処理施設、電力・化学系プラント等、多くの施設で役立つソリューションを目指していきます。</p>





(画像提供:アジア航測株式会社)


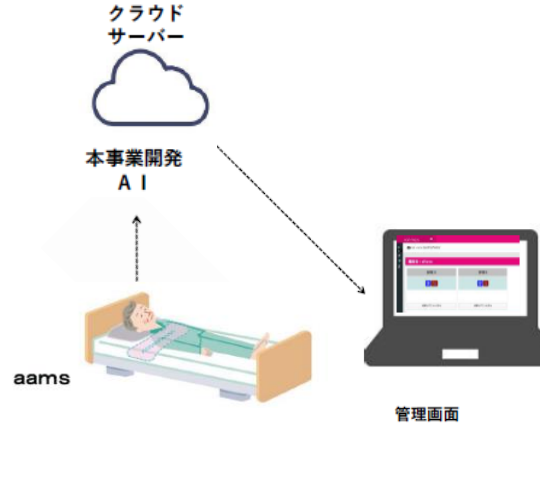
プロジェクト名称	フィジカル AI を活用した双腕アームロボット「OmniHost(オムニホスト)」の開発
事業者	株式会社クフウシヤ
プロジェクト概要	<p>宿泊・飲食業向けに、業務の作業代行/自動化を実現する「フィジカル AI(注)を搭載した双腕アームロボット」を開発します。</p> <p>双腕アームロボットによる「配膳・下膳業務の自動化」「ドリンク作りの省人化」「バックヤードでの作業効率化」といった生産性向上によって、従業員の身体的・精神的負担を軽減することを目指します。</p> <p>将来的に、従業員が音声で指示するだけでロボット自身が最適な行動を考えて動作できるフィジカル AI を構築し、汎用的なロボットサービスのソリューションとすることで、宿泊業・飲食業全体の人手不足の課題解決に貢献します。</p> <p>(注)フィジカル AI…視覚情報と自然言語を入力し、自律的に物理的なアクションを生成するAIシステム</p>



(画像提供:株式会社クフウシヤ)

【介護ロボット・介護ICT機器の開発プロジェクト】

<p>プロジェクト 名称</p>	<p>AI 介護機能訓練トレーナーの開発</p>	
<p>事業者</p>	<p>シャープ株式会社</p>	
<p>プロジェクト 概要</p>	<p>シャープは、生成 AI により自然な会話をしながら、姿勢分析・エクササイズができるフィットネス向けの“AI ヘルスケアトレーナー”をベースに、介護に特化した“AI 介護機能訓練トレーナー”を開発します。</p> <p>本プロジェクトは、家庭用テレビの上部に設置したカメラの映像を活用し、理学療法士の知見や生成 AI などを用いて、歩行や姿勢の簡便かつ専門的なアセスメントを実施。ビッグデータを分析して各人に適した機能訓練プログラムを提案し、機能訓練計画書を作成する機能を開発します。楽しく継続的に機能訓練が行えるように雑談やゲーム性も取り入れます。</p> <p>将来的には、介護用の機器との連携や介護業務の補助機能追加を目指します。</p>	<p>(画像提供:シャープ株式会社)</p>

<p>プロジェクト 名称</p>	<p>心拍・呼吸・体動・睡眠状態といった生体情報から、疾病・重症化リスク・その他各種異変を予測するAI システムの開発</p>	
<p>事業者</p>	<p>株式会社バイオシルバー</p>	
<p>プロジェクト 概要</p>	<p>体調の異変・重症化の「予測」により、早期の対策が可能になる。センサーマットが取得する生体情報（心拍・呼吸・体動・睡眠状態）から、体調の異変、疾病の予兆を予測するAIを開発します。</p> <p>ご利用者の体調の異変や疾病の予兆を事前に感知し、新しい見守り体制を構築し、体調の異変・疾病予測・未病対策に繋げていきます。</p> <p>予測に基づき事前に対処することで、</p> <ul style="list-style-type: none"> ①高齢者の健康維持 ②転倒事故の予防 ③業務効率化による介護現場の人出不足の解消 ④ケアサービスに費やす時間の拡充 ⑤予病・未病対策による医療費削減 <p>を目指してまいります。</p>	<p>(画像提供:株式会社バイオシルバー)</p>